

平成 2 0 年度事業計画及び収支予算書

財団法人群馬県馬事公苑

平成20年度財団法人群馬県馬事公苑事業計画及び収支予算について

1. 事業計画

平成19年度は新たな乗馬教室の開催をはじめ快適、安全に乗馬を楽しんでいただくため施設整備等のサービスを充実させたほか、ホームページを活用した最新の情報提供、各種広報媒体による広報展開を積極的に実施するなど集客対策に努めてきたところであります。

その結果、平成20年2月末現在の馬事公苑利用状況は、主要事業である通常乗馬が対前年比5.5%の増加、企画事業が対前年度比13.8%の減少で、事業全体の収入では前年度と同額となっており、今年度の実績推移を見ますと前期は順調な伸びを示しておりましたが、後半に入り国内に馬インフルエンザが発生したことにより各種馬術競技会が中止となった影響等で鈍化傾向になり、特に年が変わってからは前年の暖冬の好条件とは一転して低温や降雪で公苑乗馬大会が中止になるなどで大変厳しい月もありました。

平成20年度は、群馬県馬事公苑を管理、運営する指定管理者としての3年目と次回指定申請の年であることから、一層の経営基盤及び組織体制の強化を図るとともに、適正かつ効率的な管理運営にあたってまいります。

事業運営においては、12月から法律の施行となる新公益法人制度への移行期間が開始となりますので、当財団がこれまでどおり公益財団法人として認定を受けるため、乗馬を通して青少年の健全育成に寄与することが目的の大きな柱であることを重点に置き、高校生以下の団体、子ども乗馬教室及び障害者の乗馬利用を対象に減免措置を講じるなどの公益的事業を積極的に推進していくとともに、「いつでも、だれでも、手軽に乗馬」ができる県有施設の特徴を最大限にアピールして、新規利用者の誘致と定着化を図り県内乗馬人口の底辺拡大に努めてまいります。

(1) 委託管理事業

「群馬県馬事公苑の管理及び運営に関する基本協定書」及び「群馬県馬事公苑管理及び運営に関する年度協定書」に基づき、群馬県馬事公苑の設置および管理に関する条例に従い、馬事公苑を管理し、県民の動物愛護心を涵養するとともに、馬に関する知識の普及と理解の促進、乗馬技術の向上に努める。

ア. 委託事業の実施

通常乗馬、引き馬乗馬等のサービスを提供し、利用料金収入の増収を図る。

イ．施設の維持管理

来苑者が安全かつ快適に利用できるように、馬の良好な飼養管理と乗馬環境の適正な維持管理に努める。

(2) 主な事業内容

ア．乗馬の普及・啓発事業

乗馬を始めるきっかけや楽しさを提供するため、インストラクターが基礎・基本がわかりやすい指導を行うとともに、利用者が満足感を得られるサービスを実施し、乗馬人口の定着化と拡大を図る。

(ア) 大人のための短期乗馬教室

18歳以上の一般県民を対象に、広く乗馬の機会を提供する。

(イ) 平日無料体験乗馬会

初心者を対象に乗馬を身近なものとして体験してもらう。

(ウ) 現代の多様な生活スタイルに合わせた体験乗馬会

初心者を対象に昼間及びナイターの乗馬を手頃で体験できる機会を提供する。

(エ) 障害者の乗馬利用に対し、利用料金を減免する。(新規)

(オ) 積極的なPR

「馬に乗ってみたい」という潜在的乗馬愛好者に対して、広く馬事公苑の存在をアピールするため、積極的にセールス活動を展開するとともにイベント開催等の広告宣伝を行う。

イ．青少年の健全育成事業

次世代を担う子どもたちに動物とのふれあいの場の提供と動物愛護の精神を養うとともに乗馬技術の向上を図る。

(ア) 春・夏・冬休み、秋、こどもの日体験乗馬教室に対し、利用料金を減免する。(新規)

小学3年生～高校生までを対象に開催

(イ) 親子の体験乗馬教室(年4回)

こども乗馬教室の開催前に初心者の親子を対象に乗馬を始めるきっかけの場を提供し、楽しさ、家族の理解を深めてもらう。

(ウ) 乗馬少年団の活動

県内在住の小学5年生から高校生を対象に乗馬訓練を通して、青少年の育成に寄与する。

ウ．馬術競技の振興と競技技術の向上

施設を有効的に活用し、馬術競技の振興と競技技術の向上を図る。

(ア) 公苑乗馬大会の開催

乗馬技術の向上と利用者間の親睦を目的にした乗馬大会を4回開催する。

(イ) 日本馬術連盟認定B・C級騎乗者資格技能審査会の開催

馬事知識および乗馬技術向上のため、県馬術連盟の協力を得て実施する。

エ．福祉、教育機関との連携協力

乗馬を通じた青少年の育成、動物とのふれあいなどの教育活動に協力する。

(ア) 各地の学校、育成団体及び保育園等による乗馬体験、引き馬乗馬体験

(イ) 福祉施設や教育機関等が行う障害児・不登校児・自閉症児の乗馬体験活動には、ほぼマンツーマン形式の指導による協力

(ウ) 高校生以下の団体の乗馬利用に対し、利用料金を減免する。(新規)

(3) 事業協力

ア．群馬県馬術連盟主催馬術大会

イ．第63回国民体育大会関東ブロック大会

ウ．第63回国民体育大会

エ．県民の日無料体験乗馬

オ．第19回酪農畜産フェスティバル

カ．国立大学対抗馬術大会

キ．教育・福祉施設等への協力

ク．地元富士見村との協調、協力体制

ケ．その他各種行事、取材等への協力

コ．周辺施設との協力体制

平成20年度 群馬県馬事公苑事業計画

月	実施事業	協力事業
4	乗馬少年団入団式 春休み体験乗馬教室 短期乗馬教室(4月期) B・C級騎乗者資格技能審査会	春季県馬術大会
5	ナイター乗馬開始(~10月) こどもの日体験乗馬教室 平日無料体験乗馬会 昼間体験乗馬2回コース	関東ブロックミニ国体選手選考県馬術大会
6	公苑乗馬大会 短期乗馬教室(6月期) ナイター体験乗馬2回コース	夏季県馬術大会
7	親子乗馬教室 夏休み体験乗馬教室	伊勢崎市教育研究所体験活動
8	公苑乗馬(ナイター)大会 夏休み体験乗馬教室 短期乗馬教室(8月期)	伊勢崎市教育研究所体験活動
9	公苑乗馬大会 平日無料体験乗馬会 特別体験乗馬会 新規 ナイター体験乗馬2回コース	伊勢崎市教育研究所体験活動
10	親子乗馬教室 短期乗馬教室(10月期)	酪農畜産フェスティバル体験乗馬 館林児童センター乗馬体験活動
11	公苑乗馬大会 秋のチャレンジ乗馬教室 親子乗馬教室	秋季県馬術大会
12	冬休み体験乗馬教室 短期乗馬教室(12月期)	国立大学対抗馬術大会
		【年末営業】
1	初乗り会 冬休み体験乗馬教室	【年始営業】
2	短期乗馬教室(2月期) 昼間体験乗馬2回コース	
3	親子乗馬教室 春休み体験乗馬教室 乗馬少年団終了式	早春県馬術大会

収支予算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額 (補正後)	増 減	備 考
事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
基本財産運用収入	2,972	2,807	165	
特定資産運用収入	84	47	37	
事業収入	43,558	42,535	1,023	
利用料金収入	36,977	36,000	977	
企画事業収入	6,581	6,535	46	
受託料等収入	42,500	42,500	0	
管理受託収入	42,500	42,500	0	
雑収入	409	308	101	
事業活動収入計	89,523	88,197	1,326	
2 事業活動支出				
事業費支出	56,026	55,145	881	
給料手当支出	27,284	26,686	598	
臨時雇賃金支出	5,994	5,744	250	
福利厚生費支出	4,474	4,001	473	
旅費支出	85	85	0	
報償費支出	280	270	10	
需用費支出	4,178	4,126	52	
役務費支出	2,050	1,897	153	
飼育費支出	10,037	9,811	226	
馬場整備費支出	300	300	0	
馬購入支出	300	150	150	
使用料及び賃借料支出	286	397	111	
消耗什器備品費支出	728	1,648	920	
負担金支出	30	30	0	
管理費支出	30,244	31,081	837	
役員報酬支出	7,102	7,292	190	
給料手当支出	13,145	13,033	112	
福利厚生費支出	2,807	2,659	148	
旅費支出	213	120	93	
需用費支出	1,120	1,952	832	
役務費支出	206	263	57	
委託費支出	1,784	1,684	100	
使用料及び賃借料支出	190	202	12	
消耗什器備品費支出	300	0	300	
負担金支出	59	39	20	
租税公課支出	3,318	3,837	519	消費税、法人税等
事業活動支出計	86,270	86,226	44	

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額 (補正後)	増 減	備 考
事業活動収支差額	3,253	1,971	1,282	
投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
特定資産取崩収入	3,049	2,952	97	
投資活動収入計	3,049	2,952	97	
2 投資活動支出				
特定資産取得支出	7,282	3,470	3,812	
投資活動支出計	7,282	3,470	3,812	
投資活動収支差額	4,233	518	3,715	
財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
短期借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
短期借入金返済支出		0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
予備費支出	0	1,453	1,453	
当期収支差額	980	0	980	
前期繰越収支差額	8,012	8,012	0	
次期繰越収支差額	7,032	8,012	980	

(注) 1 借入金限度額 0円

2 債務負担額 0円